

令和2年度

大阪教育大学

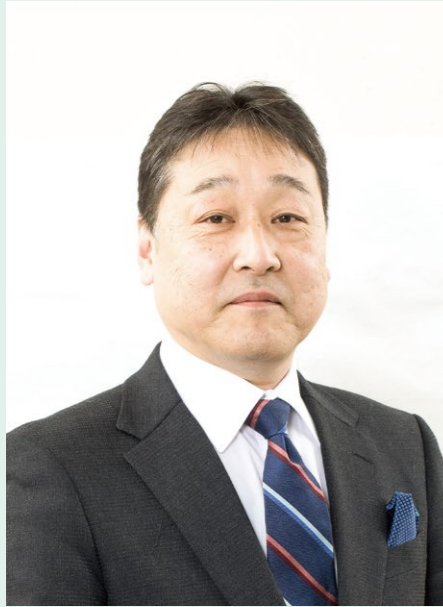
# 附属学校園案内

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY Affiliated Schools and Kindergarten



国立大学法人

大阪教育大学



国立大学法人大阪教育大学  
理事・副学長(附属学校担当)  
附属学校統括機構長

広谷 博史

## 附属学校園で新たなチャレンジを!

世界は今、大きく変わろうとしています。それは、コミュニケーションの仕組み、人や物の移動の方法、社会のあり方や考え方にとどまらず、人はどう生きるか、幸せとは何かといった根源的な価値観をも根底からひっくり返してしまうような大変革です。このような将来が見通せない世界では、子どもたちを指導する教員の力量がますます問われる時代となっていきます。

大阪教育大学附属学校園では、各地区、各校園種において、先端的な教育研究をはじめ、それぞれに特長的な教育活動が実践されています。新しい時代に立ち向かうための様々な試みや挑戦が息づいています。その附属学校園という舞台上、次の時代の教育に向けて歩み出しませんか。

附属学校園での充実した教師生活は、これまでとは異なる視点で教育を捉え直すきっかけとなるでしょう。結果として身につけた教員としての実力は、交流期間を終えてからも、地域や学校でのご活躍につながるに違いありません。素晴らしいポテンシャルをお持ちの先生方に、未来を担う附属学校園の子どもたちと密度の濃い時間をお過ごしいただけることを期待しています。

## 附属学校統括機構

本学は、令和2年度に大学と附属学校園をつなぐ組織として附属学校統括機構を設け、その機構のもとに高等学校3校舎を含む11の附属学校園(小学校:3校、中学校:3校、高等学校:1校3校舎、特別支援学校:1校、幼稚園:1園)を設置する体制へと改革しました。

附属学校統括機構は、円滑な学校園の運営、指導、教育、研究及び学校安全等の充実を図るとともに、さらに大学部局との連携強化に取り組んでいます。

また、附属学校園にあっては、大学の教育研究・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとにテーマを持って研究に取り組み、連絡進学をはじめとする相互連携も行っています。



## 大学沿革

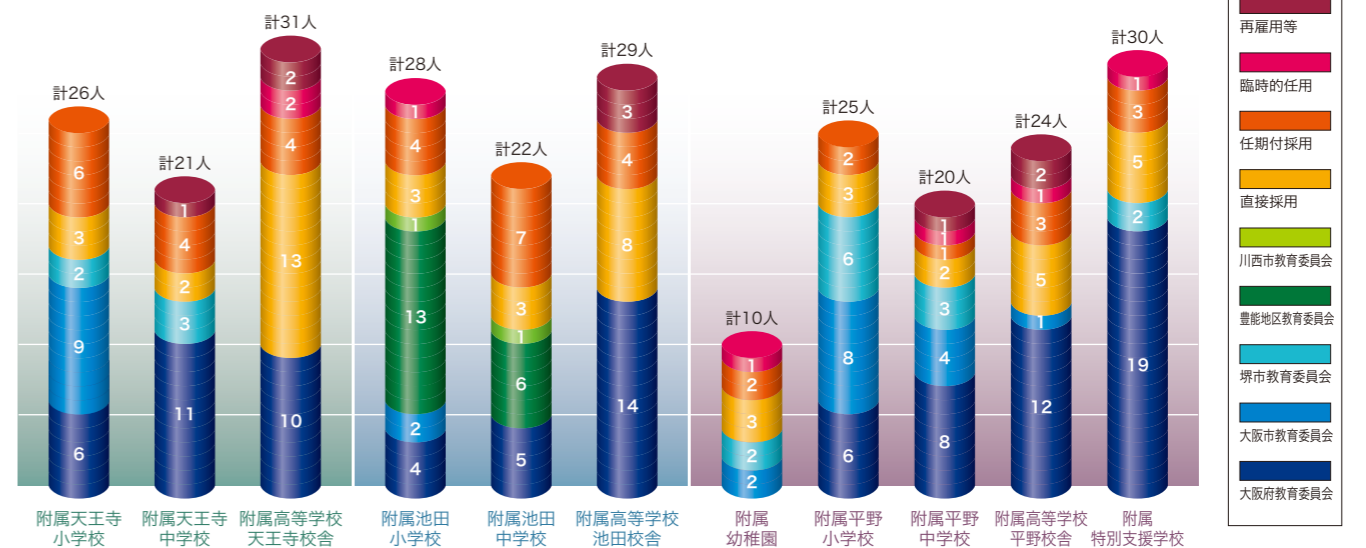
- 1874 (明治7年) 東本願寺難波別院(南御堂)内に「教員伝習所」を設置
- 1875 (明治8年) 教員伝習所を「大阪府師範学校」と改称
- 1877 (明治10年) 興正寺別院(現大阪市北区天満4丁目)に移転
- 1877 (明治10年) 久留米藩蔵屋敷跡(常安町玉江橋南詰=現大阪市北区中之島4丁目)に校舎を新設し移転
- 1878 (明治11年) 廃校となった官立大阪師範学校跡地(上本町法円坂町)に移転
- 1881 (明治14年) 再び常安町(現大阪市北区中之島4丁目)に移転大阪府師範学校を「府立大阪師範学校」と改称
- 1885 (明治18年) 女子師範学科が附設されるも、翌年分離独立
- 1890 (明治23年) 府立大阪師範学校を「大阪府尋常師範学校」と改称女子師範学科を再置
- 1898 (明治31年) 大阪府尋常師範学校を「大阪府師範学校」と再改称
- 1900 (明治33年) 女子師範学科が大阪府尋常師範学校より独立し、「大阪府女子師範学校」となる
- 1901 (明治34年) 大阪府師範学校が現天王寺キャンパス(天王寺区南河堀町)に新校舎を竣工、移転
- 1908 (明治41年) 豊能郡池田町に「大阪府池田師範学校」設立大阪府師範学校を「大阪府天王寺師範学校」と改称
- 1927 (昭和2年) 大阪府女子師範学校が住吉区平野流町に新校舎を竣工、移転
- 1937 (昭和12年) 大阪府天王寺師範学校の校舎を改築
- 1942 (昭和17年) 池田市城南(現池田市城南3丁目)に新校舎竣工、移転
- 1943 (昭和18年) 学制改革により、大阪府天王寺師範学校と大阪府女子師範学校が「大阪第一師範学校」、大阪府池田師範学校が「大阪第二師範学校」と改称
- 1949 (昭和24年) 学制改革により、大阪第一師範学校及び大阪第二師範学校を包括して「大阪学芸大学」が設置
- 1954 (昭和29年) 第二部(夜間課程)設置
- 1967 (昭和42年) 大阪学芸大学を「大阪教育大学」に学名変更
- 1988 (昭和63年) 教養学科を設置
- 1992 (平成4年) 統合により柏原キャンパスへ移転
- 2000 (平成12年) 放送大学大阪学習センターとの合築により、天王寺キャンパスに新校舎が完成
- 2003 (平成15年) 学校危機メンタルサポートセンター設置
- 2004 (平成16年) 国立大学法人大阪教育大学発足
- 2010 (平成22年) 附属池田小学校が、International Safe Schoolに認証
- 2014 (平成26年) 附属池田中学校が、International Safe Schoolに認証
- 2015 (平成27年) 附属池田小学校及び附属池田中学校がセーフティプロモーションスクールに認証
- 2017 (平成29年) 教養学科を廃止し、教育協働学科を設置
- 2020 (令和2年) 附属学校統括機構を設置

## 附属学校園の前身

- 1877 (明治10年) 大阪府師範学校に附属小学校を設置【附属天王寺小学校】
- 1892 (明治25年) 大阪府尋常師範学校附属幼稚園開園【附属幼稚園】
- 1900 (明治33年) 大阪府女子師範学校附属小学校として創立【附属平野小学校】
- 1909 (明治42年) 池田町立尋常高等学校の一部を大阪府池田師範学校附属小学校に代用【附属池田小学校】
- 1947 (昭和22年) 大阪第一師範学校に附属天王寺中学校【附属天王寺中学校】及び女子部附属中学校【附属平野中学校】を設置大阪第二師範学校に男子部附属中学校を設置【附属池田中学校】
- 1956 (昭和31年) 大阪学芸大学に附属高等学校天王寺校舎【附属高等学校天王寺校舎】及び池田校舎【附属高等学校池田校舎】を設置
- 1966 (昭和41年) 大阪学芸大学附属養護学校創設【附属特別支援学校】
- 1972 (昭和47年) 大阪教育大学附属高等学校平野校舎開設【附属高等学校平野校舎】

## ●附属学校園人事交流状況

令和2年5月1日現在 ※病気休暇取得者・産前産後休暇取得者・育児休業者を含む(臨時的任用は、病気休暇取得者・産前産後休暇取得者・育児休業者の代替者を表す)



# 天王寺地区

**研究テーマ**  
(平成22年度～) **人間と科学の調和を拓く  
リテラシー教育**

物事に対する知的好奇心を基礎に、科学的・論理的な知識や技能を活用し、課題の発見や解決への道を体験的な学びを通して開拓していくリテラシーの育成をめざしています。

TENNOJI District

## 附属天王寺小学校



平成30年度文部科学省から「業務改善」の委託事業に取り組んだ本校では、「研究の進め方」「行事の在り方」を抜本的に改革中です。大幅に時間を短縮した会議、PTAと共同した行事運営、インターンシップ学生の積極的運用、卒業生ボランティア組織の構築、地域貢献としての研究会開催など、試行錯誤しながら、新しいチャレンジを行い、発信しています。

# 池田地区

**研究テーマ**  
(平成31年度～) **社会とつながり、明日を  
切り拓く資質・能力の育成**

学びの中で生まれた問いを大切に、多面的な見地に立って論理的、批判的に考え、学び続けることを通して、情報化・グローバル化する社会の中で、よりよい構成員となり、自主・自立の精神をもって生きてゆくことのできる人間の育成をめざしています。

IKEDA District

## 附属池田小学校



本校は平成27年3月に日本初となるセーフティプロモーションスクールに認証され、学校安全の推進に取り組んでいます。また、その成果を広く発信しており、国内外の学校と人的・学術的交流が盛んです。さらに、教育研修会や地域の教育委員会と連携しての初任者研修・中堅教員研修を実施し、教員の研修校としての役割を担っています。

## 附属天王寺中学校



「質実剛健」の校風を持ち、歴史と伝統を誇る「天王寺学びのもり」から多くの有為な人材を輩出してきました。本物体験とコミュニケーション能力を高める場が数多くプログラムされています。さらに、新しい文化や情報の発信を行い、教員・生徒をはじめ保護者やステークホルダーすべての人々の力を結集して、「学びたい学校、学んでよかった学校、学ばせたい学校」をめざしています。

## 附属高等学校天王寺校舎



生徒の自主的な創意工夫を尊重した、協同的な学習・教育環境を作っています。本物・実物の体験を重視し、多様な知的好奇心に応える活動の場を提供しています。平成27年度よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)第2期の指定を受け、科学を支える人材の育成を進めるとともに、米国、タイの理数科高校との交流も進めています。

## 附属池田中学校

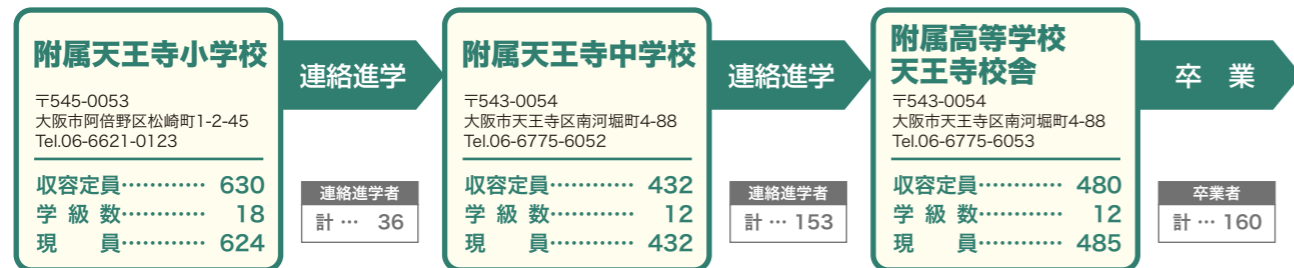


本校は、教員と生徒、生徒相互のよりよい関係を確立し、自由な校風の中、「自主・自律」の精神を培い、学びの基礎・基本の確立と確かな学力の育成を目指しています。セーフティプロモーションスクールとして生徒主体の学校安全を発信しています。また、国際バカロレア教育のMYP認定校として、グローバル感覚をもった生徒の育成にも力を入れ、新しい教育の開発を行っています。

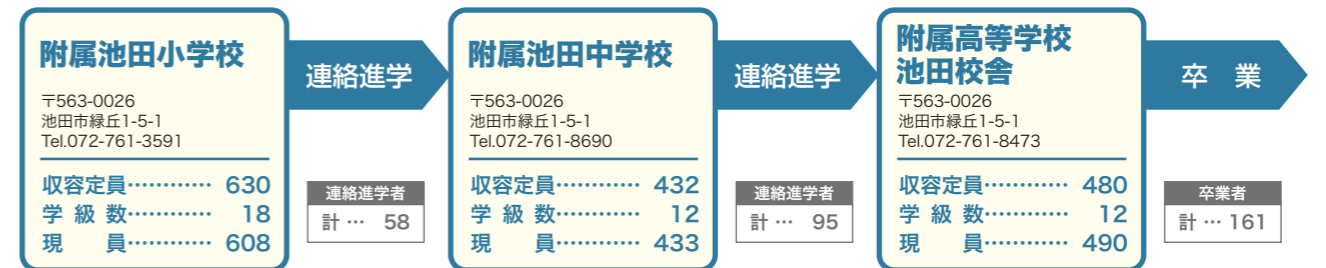
## 附属高等学校池田校舎



自由・自主・自律の校風のもと、生徒一人ひとりの個性を大切にする教育を行っています。令和2年度からWWLコンソーシアム構築支援事業の共同実施校となり、今までのユネスコ・スクールとしてのESDの実績やIB教育研究、ICT活用研究の成果を生かして、「データサイエンスに基づくイノベティブなグローバル人材育成」に取り組んでいます。また、セーフティプロモーションスクール認証をめざしています。



●数字は令和2年5月1日現在



●数字は令和2年5月1日現在

### ◎ 労働条件・環境

交流協定により公立学校から人事交流で大阪教育大学附属学校園に採用される教員の処遇については、国家公務員の処遇を参考に、就業規則等で規定しており、概要は次のとおりです

給与は、基本給に教職調整額、義務教育等教員特別手当、地域手当、通勤手当、住居手当、扶養手当、基本給の調整額、管理職手当、特殊勤務手当などが勤務条件等により加算され、原則として毎月21日に支給されます。期末・勤勉手当は原則として6月30日及び12月10日に支給されます。

勤務時間については、各附属学校園の勤務実態等を考慮の上「1年単位の变形労働時間制」を適用します。この制度は、業務に繁閑のある事業場において、繁忙期に1日の労働時間を長時間に設定し、かつ、閑散期に1日の労働時間を短時間に設定したり、休日を増やしたりすることで労働時間を効率的に配分しようとするものです。

年次休暇は、1年につき20日が与えられ20日を限度として翌年に繰越すことができますので最大で40日付与されます。また、1時間単位での取得が可能です。

病気休暇は、連続90日(病気休暇と病気休暇の間隔が20日に満たないものは連続とみなす)を超えることができません。

年金・退職手当は、双方で通算されます。

なお、公務員ではないため、雇用保険や労災保険が適用されますが、健康保険等は文部科学省共済組合の適用となります。

(上記内容は、今後変更される可能性があります。)

労働条件に関する詳細については右のQRコードで確認できます。



人事課人事係 E-mail:ninyo@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

### ◎ 研究会 参画状況

大阪府内を始めとする、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、教育委員会、大学及び各種学会・研究会などの依頼を受け、講師、発表者、パネラー、研究協力者として多数の教員が参画しています。

各校種からの参画者数は下記のとおりです。

附属小学校	のべ97人
(小学校44, 中学校2, 大学11, 教育委員会7, その他32, 小中学校1)	
附属中学校	のべ30人
(小学校5, 中学校2, 大学6, 教育委員会3, その他14)	
附属高等学校	のべ25人
(大学1, その他24)	
附属特別支援学校	のべ13人
(小学校5, 大学3, その他5)	
附属幼稚園	のべ3人
(大学2, その他1)	

合計…168人

※令和元年度実績

### ◎ 大学院での研修について

より高度な知識を習得し、資質・能力の向上を図り、そこで得た知識・実践力などを附属学校園に還元するシステムとして、内地研修制度があります。

研修期間は2年で、研修期間中も給与は通常どおり支給されます。

天王寺キャンパスで夜間開講される大学院連合教職実践研究科(教職大学院)でのみ研修が可能です。

入学選考があり、検定料、入学科及び授業料は個人負担となりますが、免除申請を行うことで、授業料が免除されます。

### ◎ 教育実習について

教員を養成する上で、最も重要とされるものの一つに教育実習があります。附属学校園では、年間を通じ、数多くの教育実習生を受け入れています。

小学校…206人、中学校…165人、高等学校…142人、幼稚園…20人、特別支援学校…10人

※令和元年度に本学学生を受け入れた実績です。

# 平野地区

## 研究テーマ 生涯発達の視点に基づいた校種間連携型一貫教育

すべての校種が近接する地区の特色を生かし、五校園が日常的に連携して子どもたちの交流・共同学習や教員の協働と研究を進めています。なかでも、幼稚園から高校まで学び続ける環境と特別な支援を得ながら育つ環境に基づく、全国的にもめずらしい「五校園共同研究」に取り組み、長期的な子どもの成長の視点にたった主体性の育成や探究的な学びの指導など、今日的な教育課題に焦点をあてた研究に邁進しています。

HIRANO District

## 附属平野小学校



教育目標「ひとりで考え ひとと考え 最後までやりぬく子」を基盤とし、平成28年度から文部科学省研究開発学校として新教科「未来そうぞう科」及び「各教科における『未来そうぞう』」の研究に4年間取り組み、現在は教育課程特例校として継続して研究を行っています。教職員・保護者・卒業生・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長に向けて、特色ある学校づくりに取り組んでいます。

## 附属高等学校平野校舎



平成27年度よりスーパーグローバルハイスクールに、令和2年度よりWWLコンソーシアム構築支援事業の拠点校に指定され、国内外の大学や高校等と連携し、海外研修やグローバル課題の研究活動を通して多様性を理解し主体的に探究するグローバルリーダーの育成に取り組んでいます。また、「探究学習の指導法(平野メソッド)」や五校園共同研究の成果の普及に努めています。

## 附属幼稚園



「すこやかに、あたたかく、遊びに生きる子ども」という教育目標のもと、主体的に生活する子どもの育成をめざしています。園内の豊かな自然環境(実なる木、様々な動物等)、ものや身近な人々との関わりを通して学びが深まるよう取り組んでいます。また、保護者による「手づくり給食」を実施し、保育内容にも食の関心に繋がる内容を取り入れながら食育を推進しています。

## 附属平野中学校

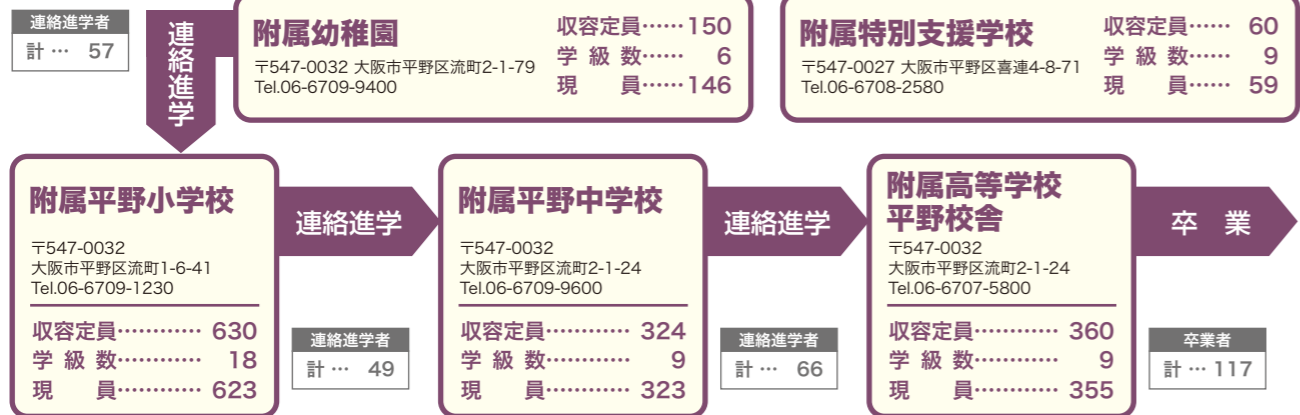


本校では、21世紀を生き抜く力として、「考える力」「確かめる力」「発動する力」を育むことをめざしています。学校・家庭・地域が一体となり、さらに、平野地区に存する五つの校園の叡智を集結しながら教育実践を重ねています。また、「附中生は行事で育つ」と言われるように、授業だけでなく、臨海学舎や文化祭など、特色ある学校行事も活かしながら、自律への意志や、協働への意欲を高めています。

## 附属特別支援学校



本校は、知的障害のある児童生徒が在籍している学校です。「明るく健康で意欲的な子ども」をめざす子ども像とし、一人ひとりの個性を尊重した教育実践を日々積み重ねています。小学部からキャリア教育の視点を取り入れ、自分で考え行動でき、また仲間と共に活動し、主体的に社会に関わるように、魅力ある授業づくりに取り組んでいます。



●数字は令和2年5月1日現在

## 人事交流により附属学校園で勤務されている先生方の感想



船築 いづみ教諭

附属幼稚園は、豊かな自然と動物に囲まれた環境の中でのびのびと遊ぶことができ、幼児一人一人の主体的な姿を育むための保育を大切にしています。そのような附属幼稚園に赴任し、一番自分の意識が変わったのは、遊びを深く捉え考えるようになったことです。幼児がどのような遊びに興味をもち、その中で何におもしろさを感じているのかを捉えながら、その遊びがより広がったり深まったりするように環境を工夫したり、援助を考えたりするようになりました。

した。幼児の姿を捉えながら、遊びの中でどのような姿を願うのか教職員同士で意見を交流し合い、試行錯誤しながら、新しいことにもチャレンジさせてもらえる環境があることで、自分自身の学びが深まっていると感じています。このような環境を活かし、遊びを通して保育の充実を図れるよう今後も精進してまいります。

附属幼稚園勤務(交流元:堺市教育委員会)



降井 健教諭

附属小学校では、特色ある行事がたくさんあります。本校の臨海学舎では、5、6年生の児童が遠泳に挑戦します。日常生活では味わえない「自分たちの限界を超える」という経験をします。自分を信じ、友達と支え合いながら大きな目標に向かって努力し、達成した児童たちの成長は目覚ましいものがあります。教師は安全性を考慮したうえで、昨年度よりさらに良いものにするために、毎年思索します。「例年通り」ではなく、常に進み続けること

の大切さを学びました。また一昨年度から始まった、防災宿泊訓練では、災害からの避難を想定した実践的な訓練を教師、保護者、児童が一体となって取り組みました。未来を生き抜くために必要な力とは何か、どのような力を育ませるのかを考えながら新たな行事を作り出す中で、教師も「自分たちの限界を超える」体験をしていたことに気づきました。

附属天王寺小学校勤務(交流元:堺市教育委員会)



小林 信之教諭

それぞれの附属学校園は公立学校と文化や背景が異なります。そのため、他では経験できない、貴重な、今後の財産となる教員としての学びの機会を得ることができます。

附属池田中学校は、国際バカロレア(IB)教育の認定校として、公立学校に還元できるような探究学習や概念理解教育、学際的な教育活動に注力しています。また、小中高が同じ敷地内にある地理的な連携の利を生かし、例年11月に行われる研究会では共通の

テーマを掲げ、定例の教科領域部会を通じて、校種の接続と風通しの良い研究を行っています。国際教育・安全教育といった池田地区の強みを、自身の教員としての強みにしていけるよう、今後も精進してまいります。

附属池田中学校勤務(交流元:大阪府豊能地区教職員人事協議会)



法用 邦義教諭

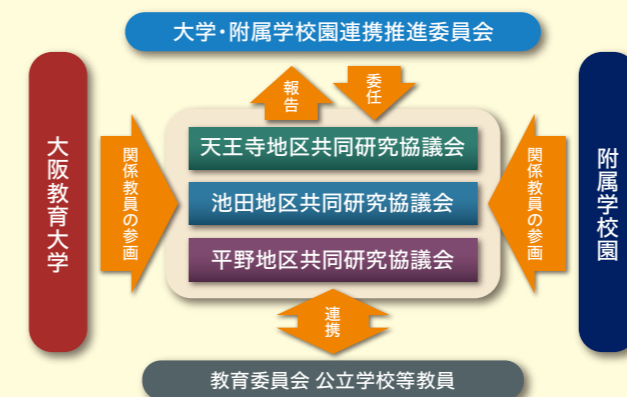
新しいことに積極的にチャレンジできることが附属高校の大きな魅力です。着任して3年が経過し、その間、教科指導や生徒指導、部活動等について、新しいチャレンジを試みています。具体的には「課題解決学習としての体育授業」「主体的な生徒会活動・部活動への改革」「学校と地域の融合」をテーマとして様々な研究や実践に取り組んでいるところです。生徒や同僚の先生方の協力も得やすい環境の中で、トライ&エラーを繰り返し、自己研鑽を積みな

がら、自身の貴重な学びをさせていただいています。今後も様々なことに挑戦し、研究を継続して周囲への発信を推進していきたいと思っています。

附属高等学校平野校舎勤務(交流元:大阪府教育委員会)

## ●大学・附属学校園との共同研究

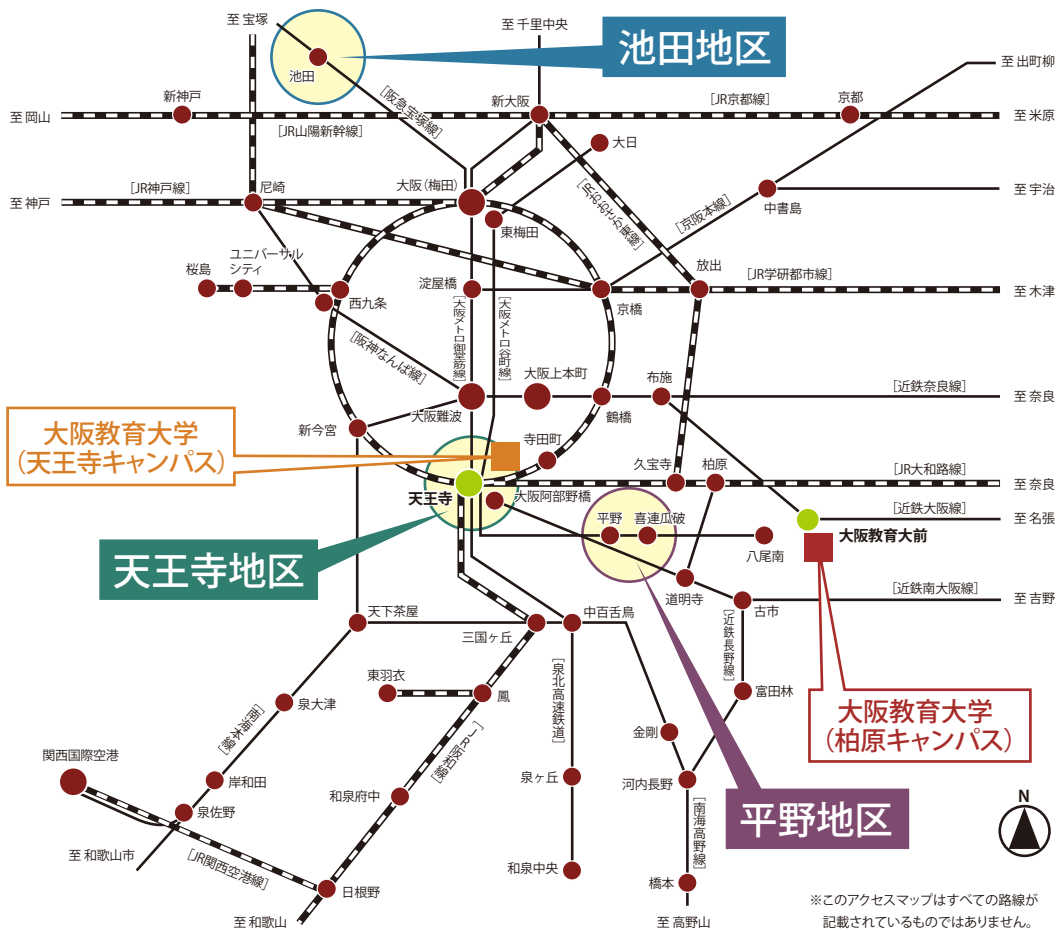
大学・附属学校園連携推進委員会の下に設置した各地区(天王寺、池田、平野)共同研究協議会において、地区ごとに共同研究テーマを設定し、学校教育の充実と発展に寄与する共同研究を行い、国の拠点校、地域のモデル校となるよう、附属学校園を活用した教育研究の推進を目指しています。中期計画・年度計画にも共同研究の推進が謳われており、地区ごとに設定した共同研究テーマを3~4年計画で推進するための取組が進められています。



## 各附属学校園の研究発表会等予定

附属学校園では下記の日程で研究発表会等を予定しております。詳細につきましては、各学校園のHPをご覧ください。

- 附属天王寺小学校  
令和3年2月19・20日 研究発表会
- 附属天王寺中・高等学校  
令和3年2月6日 教育研究会
- 池田地区  
令和3年1月23日~31日 小中高研究発表会(オンライン公開)
- 附属池田小学校  
令和3年2月27日 附属池田小学校教育研修会
- 附属平野小学校  
令和3年2月6日 研究発表会
- 附属平野中学校  
令和2年11月7日 研究発表会
- 附属高等学校平野校舎  
令和2年11月21日 研究発表会
- 附属特別支援学校  
令和3年2月13日 研究実践報告会



※このアクセスマップはすべての路線が記載されているものではありません。

編集発行

大阪教育大学附属学校統括機構

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

E-mail fuzoku@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

Tel.072-978-4017 Fax.072-978-3262

大阪教育大学Webページ  
<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>